

## 株主メモ

### 【事業年度】

毎年11月1日から翌年10月31日まで

### 【定時株主総会】

毎年1月

### 【基準日】

毎年10月31日

### 【株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関】

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

### 【株主名簿管理人事務取扱場所】

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

### 【郵便物の送付先または連絡先】

〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部 電話照会先 ☎0120-782-031

### ※株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡下さい。

### ※特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

### 【株式に関するお手続きのホームページURL】

<http://www.smtb.jp/personal/agency/>

### 【公告方法】

電子公告によって(電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して)行います。

## IRページのご案内

当社では、月次売上速報や決算短信などをホームページ(<http://www.his.co.jp>)で公開しております。最新情報を適時掲載しておりますので、ご利用下さい。

## 株主様ご優待のお知らせ

毎年4月及び10月の末日現在において、株主名簿に記録のある100株以上の株式を所有されている株主の皆様にご優待券をお送りいたします。今回お送りする株主優待券及びハウステンボスご入場割引券は来年(平成28年)の1月31日までご利用になれます。

### 【株主優待券】

当社、株式会社クオリタ及び株式会社クルーズプラネットの商品にご利用いただける株主優待券を、株主の皆様にご用意しております。



100株以上 …… 2枚  
500株以上 …… 4枚  
1,000株以上 …… 6枚

ご利用にあたっては、ご予約された営業所にご持参またはご郵送下さい。また、当社の商品券「SKY」と併用してご利用することもできます。

## 単元未満株式の買取及び買増制度

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の場合、当社に対して買取請求(売却する)及び買増請求(買増して1単元の株式(100株)にする)ができます。お手続きの詳細は、上記の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせ下さい。(証券会社に株式を記録されている場合は、お取引の証券会社にお問い合わせ下さい。)

### 【ハウステンボスご入場割引券】

ハウステンボス株式会社が運営いたしますハウステンボス(長崎県佐世保市)のご入場割引券を、お送りいたします。



100株以上 …… 1枚  
100株以上の株式を所有されている株主様に一律1枚お送りいたします。

ご利用にあたっては、ハウステンボス料金所で入場券をご購入される際に本券をご提出下さい。ハウステンボス料金所での購入時のみ利用可となっております。



LET'S GO ANYWHERE!



株主・投資家の皆様へ

# H.I.S. Business Report

第34期(平成25年11月1日から平成26年10月31日まで)

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様にH.I.S. Business Report(平成25年11月1日から平成26年10月31日まで)をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度における日本発海外旅行市場は、国際情勢や感染症の発生など不安材料があったものの、羽田空港発着枠増加による路線拡大などがプラス要因となり、全体として堅調に推移しました。

国内旅行市場につきましては、LCCの航路線拡大や世界遺産など観光素材の充実を背景に、国内レジャー需要の高まりが継続し、順調に推移しました。訪日外国人旅行市場につきましては、東南アジア諸国の査証条件緩和や円安による割安感に加え、中国からの訪日客数が大きく回復するなど、平成26年1月から平成26年10月までの10カ月間の訪日外国人客数(日本政府観光局推計値)が、平成25年の過去最高人数を更新するほどの拡大成長をみせています。

このような経営環境の中で当社グループでは、引き続き「安全」と「安心」を基本とし、さらにお客様にご支持いただけるよう「サービス」と「品質」の向上に努めつつ、グローバル市場において事業を拡大させていくために、オリジナリティにこだわった各種施策を展開いたしました。主な取り組みにつきましては、本書3ページ以降にTopicsとして記載させていただいております。

以上のような各施策を展開した結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高5,232億46百万円(前期比109.1%)、営業利益159億6百万円(同134.3%)、経常利益190億16百万円(同125.1%)と4期連続で過去最高を達成いたしました。当期純利益は、ハウステンボス株式会社の繰越欠損金が解消したため税金費用が増加し90億500万円(同101.6%)となりました。

世界情勢の先行きは依然として不透明の中、為替の変動や感染症の世界的な広

がりなど、旅行事業に影響を及ぼす要因はありますが、羽田空港発着枠の増加などに加え、東南アジアや中国をはじめとした訪日外国人客数の増加により、旅行業界は緩やかに好転しております。一方で航空会社の直販化や、グローバルに展開し成長を続けるオンライントラベルエージェントをはじめ、IT技術の進化に伴い新たな旅行関連サービスを提供する新興企業など、旅行市場を取り巻く競争は激しさを増しております。今後は市場の変化を見据えた対応が一層必要になると予想されます。

このような環境の中、当社グループは、これまで培った現地ネットワークを活用し、世界市場において時代を先取りした新サービスの提供や、新たな価値を創造し、お客様により安心とご満足を感じていただくことで、業績のさらなる向上を図ってまいります。

ハウステンボス株式会社では、これまでご来場のお客様に対し、ご期待を超える

感動を提供すべく「花の王国」「光の王国」「音楽とショーの王国」「ゲームの王国」を、次期においてはさらに進化させ、オンリーワン・ナンバーワン戦略を推し進めてまいります。加えて、お客様の健康をテーマに「健康の王国」を新たに立ち上げ、健康に関心をお持ちのお客様のニーズにお応えする展開を開始する予定です。また、世界最高水準の生産性の高いホテル「スマートホテル」開業や、サービスロボットの開発などテーマパーク事業以外の分野における新たなチャレンジも引き続き実行してまいります。

株主の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、今後とも当社グループをご愛顧賜り、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年1月

代表取締役社長 平林 朗



## 日本発海外旅行における新たな取り組み



日本発海外旅行の新たな取り組みとしましては、旅先において現地のスタッフがお客をサポートする「旅先コンシェルジュ」や、「レストラン代行予約」のサービスを開始しました。また、サグラダファミリア(スペイン)などの有名観光地を貸し切りで鑑賞できるプランの拡充やサンディエゴ(アメリカ)やモロッコなど、新たな旅行先のご提案を実施し、幅広いお客様にご利用いただくことができました。さらに、ハワイにおいては、ホテルのプールサイドを貸し切り、バーベキューやエンターテイメントが楽しめる「ヒルトン星空バーベキュー」を開発するなど、海外拠点網を生かした当社ならではの独自のサービスを展開しました。お客様の安全と安心を第一に心がけ、旅行前から旅行中、旅行後もワクワク、感動をお届けできるよう努めました。

## 販売チャネルの拡充



より専門性の高いサービスの提供ができるよう、ハワイの情報や商品に特化した「大阪駅前ハワイ支店」をオープンしました。その他にもショッピングセンターを中心に新店し、国内の営業拠点網は296拠点(対前年比22拠点増)となりました。インターネットにおいては航空券とホテルに加えて、オプションツアーや送迎などの付帯サービスの同時購入を可能にしたほか、SNS「LINE」を利用した問い合わせ対応サービスを開始するなど、さらなる利便性向上を図りました。

## 団体旅行・法人旅行事業の強化



高成長を続けております団体旅行につきましては、2回目の開催となった独自企画であるホノルル駅伝の実施をはじめ、有名アーティストの海外コンサートツアーやインセンティブ旅行など大型案件の受注が増加いたしました。また、各地区での教育旅行の受注も増加し、好調に推移しました。法人旅行においても、海外出張や業務渡航において、海外拠点網を生かしたグローバルなサポート体制を強化し、順調に推移しました。

## 国内旅行事業の強化



◀ ドラえもんで行く沖縄



▲ バスツアー

企画チームやコールセンターを旅行先に設置することで、新鮮な情報や現地造成ならではの旬の商品を、素早くお客様に提供する着地型ビジネスを一層推進いたしました。沖縄においては、専用シャトルバスの運行や、無人島体験ツアーの実施など、当社ならではの施策を行いました。人気のバスツアーに関して、神奈川、千葉、埼玉などに発着地の拡大を行うとともに、全営業所における販売を開始するなど、販路拡大に努めました。引き続き、国内旅行事業では高い成長率を維持しております。

## 訪日旅行事業の拡大



◀ TOUCH!TOKYO



▼ スマ宿

商品造成や送受客において、査証条件の緩和施策が進むタイやインドネシアなどの東南アジア各拠点との連携強化や、タイ人向け観光案内アプリ「TOUCH!TOKYO」のサービスを開始するなど、好調に推移いたしました。また、訪日客数が過去最高を更新した中国人マーケットにおいても、ニーズの多様化に対応すべくゴールデンルート以外の商品や、個人旅行者向けの空港送迎シャトルバスを開始するなど、受客体制の強化に努めました。さらには、39カ国で展開しているオンライン予約サイト「hisgo」と国内宿泊予約サイト「スマ宿」を接続させるなど、日本、海外双方において訪日旅行事業の強化に取り組みました。

## 海外における旅行事業



◀ hisgo

▶ BtoB専用  
SKYhubバス◀ タイ  
プロモーション  
ラッピングバス▶ バンコク  
BTSビクトリー  
モニュメント支店▲ ビクトリアフォールズ  
ツアーデスク

東南アジアを中心とした多店舗展開の促進や未進出国への出店などにより、海外の営業拠点網は60カ国124都市180拠点(同22拠点増)となりました。特に、タイでは22拠点、インドネシアは14拠点、ベトナムは9拠点と拡大を続けております。海外現地手配などを請け負うインバウンド業務においては、海外拠点が有するサービスや設備を他の旅行会社にもご利用いただくホールセール事業の営業体制の整備を行いました。アウトバウンド業務においては、多店舗展開に伴い現地のお客様に向けた大規模プロモーションを実施するなど、認知度向上を図りました。海外拠点間における送受客の連携も図り、魅力ある商品を造成、販売し、受客する海外拠点でも質の高いサービスで受け入れるなど、各拠点間の連携はより強固なものとなりました。

## テーマパーク事業



▲花の王国

◀ゲームの王国

▲ラグーナテンボス

◀ハウステンボス歌劇団

光の王国▶

ハウステンボスでは、365日、いつでも楽しめるオンリーワンのイベントに注力し、お客様に感動をお届けいたしました。国内最多650品種を取り揃えた「チューリップ祭」をはじめとした「花の王国」や、1,000万球超へと拡大した「光の王国」など、昨年以上にスケールアップした魅力を提供し、お客様満足度の向上に努めました。また、生演奏やハウステンボス歌劇団による本格的なショーで園内を彩る「音楽とショーの王国」や、ここでしか体験できない最新鋭のゲームが楽しめる「ゲームの王国」も開始し、幅広い世代にご支持いただきました。そのほか、初の場外イベントとして、「大阪城3Dマッピング スーパーイルミネーション」を開催し、多くのお客様で賑わいました。

また、平成26年8月1日より愛知県蒲郡市にて株式会社ラグーナテンボスが「ラグーナ蒲郡」の3事業を承継し運営を開始しております。

## ホテル事業

▲グムリーフ  
インフィニティビーチウォーターマーク長崎▶  
特別プラン

グムリーフ&オリーブスパリゾートホテルではプライベートビーチを開設し、お客様満足度の向上に努めました。ウォーターマークホテル札幌では北海道ならではの人気のお土産付きプランを充実させました。また、ウォーターマークホテル長崎では、開業3周年を記念して特別イベントを実施するなど、各ホテルにおいて価値を高める独自サービスの展開をいたしました。お客様に喜ばれるサービスや収益性向上に努めた結果、増収増益を達成いたしました。なお、インドネシアのバリ島にて平成27年夏に開業予定の新たなホテルを建設しております。

## 九州産交グループ・運輸事業



▲阿蘇スーパーリング

アジアアトランティック▶  
エアラインズ

九州産交グループでは、環境に配慮した新排出ガス規制に対応し、安全装備を完備した新型バス車両を導入し、お客様の安全、安心に努めました。また、プロジェクトマッピングにより阿蘇火山の四季や火口の内部を体感できる「阿蘇スーパーリング」を設置しました。運輸事業では国際チャーター便専門会社のアジアアトランティックエアラインズにおいて、安全運航、定時運航率の向上に努めました。

## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (平成26年10月31日現在) (単位:百万円)

| 科目          | 金額             | 科目                 | 金額             |
|-------------|----------------|--------------------|----------------|
| <b>資産の部</b> |                | <b>負債の部</b>        |                |
| <b>流動資産</b> | <b>196,789</b> | <b>流動負債</b>        | <b>98,384</b>  |
| 現金及び預金      | 136,230        | 営業未払金              | 22,181         |
| 売掛金         | 15,496         | 旅行前受金              | 50,542         |
| 営業未収入金      | 7,386          | その他                | 25,660         |
| 旅行前払金       | 23,296         | <b>固定負債</b>        | <b>80,652</b>  |
| その他         | 14,380         | 社債                 | 20,000         |
|             |                | 転換社債型新株予約権付社債      | 20,193         |
|             |                | その他                | 40,458         |
|             |                | <b>負債合計</b>        | <b>179,036</b> |
| <b>固定資産</b> | <b>84,360</b>  | <b>純資産の部</b>       |                |
| 有形固定資産      | 48,704         | <b>株主資本</b>        |                |
| 無形固定資産      | 4,552          | 資本金                | 6,882          |
| 投資その他の資産    | 31,103         | 資本剰余金              | 7,782          |
|             |                | 利益剰余金              | 71,612         |
|             |                | 自己株式               | △2,533         |
|             |                | <b>その他の包括利益累計額</b> | <b>4,843</b>   |
| <b>繰延資産</b> | <b>181</b>     | <b>少数株主持分</b>      | <b>13,708</b>  |
|             |                | <b>純資産合計</b>       | <b>102,295</b> |
| <b>資産合計</b> | <b>281,332</b> | <b>負債純資産合計</b>     | <b>281,332</b> |

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (平成25年11月1日から平成26年10月31日まで) (単位:百万円)

| 科目               | 金額      |
|------------------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 23,701  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △12,703 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 37,033  |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 687     |
| 現金及び現金同等物の増加額    | 48,719  |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 61,426  |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 110,145 |

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書 (平成25年11月1日から平成26年10月31日まで) (単位:百万円)

| 科目             | 金額      |
|----------------|---------|
| 売上高            | 523,246 |
| 売上原価           | 427,306 |
| 売上総利益          | 95,939  |
| 販売費及び一般管理費     | 80,033  |
| 営業利益           | 15,906  |
| 営業外収益          | 3,816   |
| 営業外費用          | 705     |
| 経常利益           | 19,016  |
| 税金等調整前当期純利益    | 19,016  |
| 法人税等           | 7,744   |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 11,271  |
| 少数株主利益         | 2,221   |
| 当期純利益          | 9,050   |

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(平成26年10月31日現在)

## 株式の状況

|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 88,551,450 株 |
| 発行済株式の総数 | 68,522,936 株 |
| 株主数      | 12,581 名     |

## 大株主の状況(上位10名)

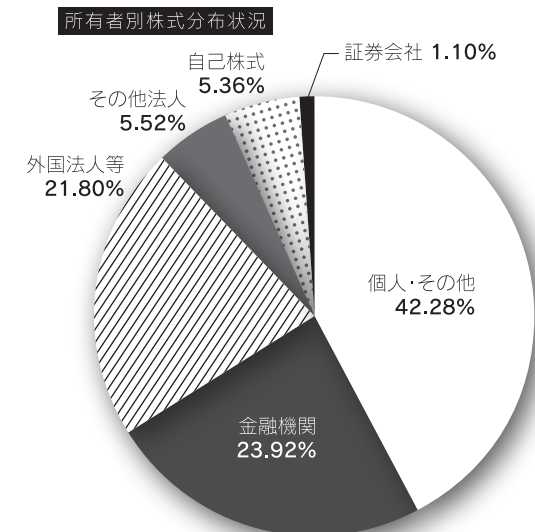
| 株主名                        | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|----------------------------|---------|---------|
| 澤田 秀雄                      | 19,073  | 29.41   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)    | 4,499   | 6.93    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)  | 3,477   | 5.36    |
| 有限会社 秀インター                 | 3,381   | 5.21    |
| 野村信託銀行株式会社(投信口)            | 1,291   | 1.99    |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)  | 1,275   | 1.96    |
| 全国共済農業協同組合連合会              | 1,139   | 1.75    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 1,030   | 1.58    |
| 行方 一正                      | 1,021   | 1.57    |
| 澤田 まゆみ                     | 1,000   | 1.54    |

(注)当社は自己株式(3,673,396株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 会社概要

|          |  |
|----------|--|
| 商号       | 株式会社 <b>エイチ・アイ・エス</b>  |
| 英文社名     | H.I.S.Co.,Ltd.   |
| 本店       | 東京都新宿区西新宿六丁目8番1号   |
| 設立       | 昭和55年12月19日  |
| 資本金      | 68億82百万円   |
| 従業員数(連結) | 9,652名 (この他に、契約社員、見習社員、アルバイトが在籍しております。)  |
| 主要な事業内容  | 旅行業法に基づく旅行業(観光庁長官登録旅行業第724号)を営んでおり、海外旅行業務及び国内旅行業務、航空券の取次販売、手配旅行、企画旅行及びこれらに伴う現地手配と渡航手続並びに旅行傷害保険の代理業務を行っております。 |
| 国内・海外拠点数 | 国内 296店舗／海外 60カ国 124都市 180拠点   |
| ホームページ   | <a href="http://www.his-j.com">http://www.his-j.com</a>  |

## 株式分布状況



## 会社役員

|         |       |
|---------|-------|
| 代表取締役会長 | 澤田 秀雄 |
| 代表取締役社長 | 平林 朗  |
| 専務取締役   | 楠原 成基 |
| 常務取締役   | 中森 達也 |
| 取締役     | 和田 光  |
| 取締役     | 中谷 茂  |
| 取締役     | 高木 潔  |
| 取締役相談役  | 行方 一正 |
| 取締役     | 平田 雅彦 |
| 常勤監査役   | 三上 幹夫 |
| 監査役     | 梅田 常和 |
| 監査役     | 山本 克  |

(注)取締役 平田雅彦氏は、社外取締役であります。監査役 梅田常和氏及び監査役 山本克氏は、社外監査役であります。